

緑西 直言

不 易 流 行

上田 康生

2001
年卒

24回生

西宮市立中央病院
泌尿器科部長・ロボット手術センター長

医師の「働き方改革」として、今年の4月から、医師の残業時間に上限を設ける制度が開始となりました。2019年の厚生労働省の調査において、週あたり80時間以上（年あたり時間外1860時間超相当）働いている医師のいる病院は、21%であったそうです。医師が健康に働き続けられるような環境を整備することで、患者さんに提供する医療の質・安全を確保すると同時に、将来にわたって持続可能な医療提供体制を維持していくための取組として、この「働き方改革」が開始されました。

とはいえ我々は、病院や上司からの指示のもとに働いているだけでなく、患者さんの病状によるところも多いのはご承知のとおりです。よって、他の業種とも一括りにした「労働者」という考え方を当てはめることには多少の疑問を感じます。また、病院、特に大学病院などでは、数多くのカンファレンス・説明会・講演会および伴う発表準備などがあり、拘束時間が長くなる要因の一つでもあります。加えていわゆる“自己研鑽”と呼ばれる時間は、医師・病院における一つの文化とも言えますが、今後は「働き方改革」によって変換が求められています。

少し話はかわりますが、私が勤務しています西宮市立中央病院のはじまりは、大正10年に開設された西宮町立診療所に遡ります。場所は今と異なり久保町にあり、当初は内科と小児科のみ、平屋の建坪30坪の小さな診療所でした。昭和に入り眼科や外科が新設され、昭和14年に同じく久保町の既存建物を改築して、西宮市立市民病院として開院しました。太平洋戦争中、西宮市は幾度もの空襲を受けていますが、1945年8月5から6日にかけての空襲においては、西宮市は南部市街地がほとんど全滅するという甚大な被害をうけており、当院も焼失しました。西宮神社の国宝建造物指定であった三連春日造りの本殿も全焼したそうです。当院は、戦後に用海小学校跡地に再建され、1952年に染殿町（現在の総合福祉センターのあたり）に移転しまし

た。1960年に西宮市立中央病院と名称変更され、そして現在の林田町には1975年3月に移転、それから約50年にわたりこの地で診療を続けてきたことになります。

当院と兵庫医大・緑樹会員とのつながりはこの地になってからであり、1989年に最初に常勤医としての赴任をされて以来、内科・泌尿器科はもとより、耳鼻科や産婦人科、小児科などに、約30名の先生方が勤務してこられました。非常勤医は更なる数となります。残念ながら、現在科単位での兵庫医大の関連施設は泌尿器科だけですが、当院の歴史は、多くの緑樹会の先生方によって受け継がれてきたことになります。

今後の当院は、2026年に県立西宮病院との合併・移転での統合新病院開院が控えています。県立西宮総合医療センター（仮称）は、昨年7月に建設地である西宮市津門大塚町（アサヒビール西宮工場跡地）において起工式が執り行われました。新病院は、地上11階建て、35診療科、総病床数552床（精神8床）の規模となります。基本方針として、①高度急性期・急性期医療の提供、②救命救急センターとしての役割、③先進医療への対応、④感染症対応機能の充実・強化、⑤AI・ICTの活用、⑥医療従事者の育成拠点、⑦災害に強い病院、⑧安定した経営基盤の確立、を掲げています。

このように、医師の働き方や西宮の医療は変化の真ただ中にあるわけですが、これからも兵庫医大には、医師としての矜持、医師としてのあるべき自己犠牲の精神をもった医師を学ばせ育てていく義務があり、多くの期待が寄せられています。そして、今までも今もこれからも、西宮地域の医療を守り続けるのは、緑西会と会員の先生方に他なりません。当院もその一端を担うべく、当地においてはあと2年と少し、そして新病院になっても、先生方との繋がりを本質的なものとして大切にしつつ、新たな時代へ変化に合わせた役割をもって、地域医療の発展に貢献していく所存です。引き続き、どうぞよろしくお願い致します。

やまなか整形外科
クリニック

山中 一浩

1990 年卒・13 回生



こんにちは。

夙川で 2023 年 10 月に整形外科クリニックを開業しました。山中です。

この原稿が読まれる頃には夙川の桜も見頃を迎えていることと思います。

さて、皆様が子供のころ思い描いた未来はどんなものだったのでしょうか？

私は漫画（アニメ）に出てきたテレビ電話ができていいなと思っていました。そして、世界は日々同じように続いてゆくのだらうと子供ながら考えていました。

ところが、テレビ電話どころか携帯電話を持ち歩き、ビデオ通話が可能になりました。平成・令和でどんどん時代が進んでいます。昭和はすでに「昭和レトロ」と言われるようになり、時代は自分が思い描いたものと違った方向に進んでいるようにも感じます。

2019 年の 12 月ごろ息子から「風邪ひいた。めっちゃくしゃんぞい。病院に行ったけど治らへん。この辺（神戸の西の方）で変な肺炎が流行ってるみたいやねん。」看病に行った妻まで 2020 年 1 月しばらく寝込みました。しばらくすると日本でも 2020 年 1 月 15 日、新型コロナ罹患者が確認され、世界が閉塞感のある移動できない時代が来たのです。

コロナ感染真っ只中の時期に堺の透析病院に勤務していて新型コロナ感染透析患者さんの透析を行っていたので、透析室関連の仕事の時には整形外科医にもかかわらず PPE（Personal Protective Equipment）装着して患者さんにとって COVID-19 検査の説明し、点滴（ゼビュディ）治療に関する説明、承諾書のサインしてもらったりしていました。

やっと、COVID-19 も沈静化してきてこれから平穏な時が来るのかなと思っていたら、今度はロシアがウクライナに侵攻し多くの人々が死んでいるといっています。なかなかエンディングが見えないままですが、最近でもガザ地区のハマスとイスラエルの紛争が起こるなど次々に世界での争いが起こっています。占星術で土の時代から風の時代に变化したと言われていたのですが本当に風の時代に入ったのかと思う今日この頃です。

私の話に戻しますと、兵庫医大病院勤務時代は脊椎外科グループに所属し、現教授の橘教授が救急部から整形外科医局に戻られてからは一緒に手術をしたりしておりました。その後は宝塚こだま病院に勤務し一般外傷（大腿骨頸部骨折、上腕骨頸部骨折、橈骨遠位端骨折、足関節脱臼骨折等）の手術、阪大のリウマチ・膝人工関節グループの先生と人工膝関節置換術、RA 腓断裂腱移行術、RA 足趾関節形成術などを行っておりました。手術もそろそろ卒業しようかと考え、還暦を前にして開業を決断しました。何とか開業にこぎ着け現在に至っております。最初に述べましたが夙川（阪急夙川駅南の道を渡って直ぐの夙川グリーンタウン（夙川駅前イズミメディカルモール））で開業しております。今後ともよろしく願いいたします。



昔の整形外科脊椎グループ

ベルリンの学会にて
（橘教授、米田先生、
韓国の先生と共に）



ローマの学会にて
（コロッセオ前。橘教授と共に）

勝野内科クリニック

勝野 朋幸

1997年卒・20回生



皆様こんにちは。平成9年度卒業の勝野朋幸と申します。昨年10月より夙川地区で開業しましたことから、緑西会への入会、および寄稿の機会を頂きました。感謝申し上げます。今回は、簡単に自身の紹介、およびクリニックの現状を寄稿いたします。性格上、文章が固く、面白みがないのはご容赦頂きたく存じます。

まずは自身の紹介となります。平成9年 兵庫医科大学を卒業し、旧第2内科(垣下内科)に入局しました。その後、兵庫県立淡路病院(現 兵庫県立淡路医療センター 血液内科)、讃和会 友愛会病院(消化器内科・救急科)を経て、兵庫医科大学に戻り、糖尿病・内分泌・代謝科の所属となりました。しばらくして、研究および教育に関しては兵庫医科大学 リハビリテーション学部所属となり、臨床・診療は糖尿病内分泌・免疫内科で継続して参りましたが、小生でも地域に貢献できる可能性のあるクリニックで医療に従事していきたいという選択に至りました。地域の先生方のご苦勞を十分に理解していない上での開業となりましたことから、今後諸先生方にご迷惑をおかけすることも多いかと思ひます。何卒ご指導のほどよろしくお願いいたします。



次はクリニックの現状についての話となります。現時点で開院後約4か月となります。最初の1か月は「閑古鳥がなく」

を体現したような状況となりました。こんなに患者さんが来ないものなのかと驚きました。小生自身より、スタッフたちの不安を減らすことばかりに注力していたような気がします。2か月目になると、発熱、腹痛、めまい、不定愁訴の方など、パラパラですが患者さんに来て頂けるようになりました。3・4か月目は丁度年末・年始に重なったことから発熱患者さんがたくさん来てくれて、少しにぎわいましたが、いまはそれも止み、再び閑古鳥というのが現状です。

大学病院の外来では当たり前のように複数名の患者さんの紹介があり、再診の患者さんを含めてどうやったら患者さんの待ち時間や数を減らせるだろうなど、思えば傲慢な考えをしておりましたが、今となっては、患者さんにどうやったら来てもらえるかを考える毎日となりました。また、専門は糖尿病になるのですが、糖尿病の新規患者さんはひと月に1人・2人来ていただけるかどうか、という感じですので、もし糖尿病治療で難渋している患者さんがいらっしゃいましたら、ぜひご紹介いただけましたら幸いです。

最後に、本来でしたら開院前にご挨拶に伺うべき先生方のところに、自身の計画性のなさからその時間を確保できぬまま開院にいたりしました。この場を借りて陳謝いたします。皆様方、引き続きよろしくお願い致します。



泌尿器小手術・在宅医療

医療法人社団 優 会

段上町 1-2-34

なかおクリニック
泌尿器科
相生町6-37
中尾 篤
1997年卒
20回生
軟式テニス部

よしおかクリニック
泌尿器科
段上町1-2-34
吉岡 優
1988年卒・11回生
硬式テニス部

内科・循環器内科

藤川クリニック

藤川 洋子
1992年卒・15回生・空手部

頑張っています!!

趣味その1♡
観劇
医師会宝塚愛好会
所属

趣味その2♡
声楽・舞台

甲子園口3-4-24

何でも気軽に相談できるクリニック

消化器科・内科・外科・肛門科

平川クリニック

平川 一秀
1990年卒・13回生
アメリカンフットボール部
愛車・ケータハム セブン
趣味・ゴルフ

大屋町12-20

行私とスナックに
ましましうに

内科・循環器内科・消化器内科・外科

はまおかクリニック

浜甲子園1-1-9

濱岡 守
(2004年卒・27回生・スキー部)

私に癒されてください

リョクニシ広報部のエース

消化器内科・外科・肛門外科・在宅訪問診療

おぐしクリニック

小串伊知郎
(1990年卒・13回生・剣道部)

二代目院長
西宮“道一筋50年”

上大市5丁目12-15

hoshina eye clinic

**ほしな
眼科クリニック**

門前町3-2

保科 幸次
(1991年卒・14回生/ラグビー部)

We love H.M.U !

URL <http://hoshinaeyeclinic.com/>

編集後記

親愛なる緑西会のみなさま、お元気で麗らかな春をお迎えのことと存じます。金曜日夜は TV「不適切にもほどがある！」を心待ち、私が兵医 4 年生のとき時代は昭和から平成へと移りました。傍若無人に煙草バッカバッカ吸って、皆、小川先生のようになぜか首を傾けて、空高く紫煙を吐き出していました、校内・校外いたるところで。実は相手に煙がからないよう思いやりマインドだったのでしょうか？ルーズでテキトーだったけど、人と沢山話したり、人の話を聞いたり、相手の気持ちを汲んでみたり、現在の基礎はあの頃、武庫川ベリ界限や鳴尾浜で育まれたのでしょうか。6 月 15 日は久々に総会開催です。池内新病院長を囲んで、聞いたり、話したりしませんか。(保科 幸次)

総会ご出欠の返信は
こちらから



兵庫医科大学同窓会緑樹会 西宮支部 緑西会会員数

168 名

2024.3.1